

# 史跡米子城跡 整備基本計画

平成31年（2019年）3月

鳥取県米子市





北東上空から見る米子城跡本丸



米子城天守（手前）と四重櫓（奥）の石垣





三の丸（湊山球場）から見る二の丸高石垣と天守石垣  
上：樹木伐採前（平成 30 年(2018)7 月） 下：伐採後（同年 11 月）

## 序 文

米子城<sup>よなごじょう</sup>は、天正19年(1591)頃に吉川広家<sup>きっかわひろいえ</sup>が築城を開始し、慶長7年(1602)頃中村一忠<sup>なかむらかず</sup>によって完成したといわれる、山陰で他に先駆けて築かれた本格的な近世初期の城郭です。海に面した湊山を中心に、中世の砦と伝えられる飯山を取り込んで築かれた特色のある平山城で、山頂に大小二つの天守を連ね、「山陰随一の名城」とも称される壮麗な城であったといわれています。

現在、当時の建造物はすべて失われていますが、城の縄張りや石垣などは往時の姿をよくとどめており、平成18年に国指定史跡「米子城跡」として指定を受けました。

天守跡からは秀峰大山や日本海、隠岐、米子市街地、弓ヶ浜、中海、中国山地などの360度のパノラマが展開し、本市中心市街地の歴史的、景観的ランドマークとして多くの市民、来訪者に親しまれています。

本市では、この米子城跡が有する価値を明らかにし、適切な保存管理を行うための基本方針や取扱方法、活用整備に関する方向性などを示すために、平成29年(2017)3月に「史跡米子城跡保存活用計画」を策定しました。この度、保存活用計画の内容を踏まえつつ、今後の整備の基本的な考え方と方向性を示すために、市民や様々な分野の学識経験者で構成する「史跡米子城跡整備検討委員会」を設置し検討を重ね、「史跡米子城跡整備基本計画」を策定いたしました。

今後は、保存活用計画及び本計画を指針として、史跡米子城跡を確実に保存・管理し、後世にしっかりと継承するとともに、より多くの人に米子城跡に来ていただき、その価値や魅力について理解を深めていただけるよう活用・整備を図ってまいりたいと考えております。

最後になりましたが、本計画の策定にあたり、貴重なご意見、ご提言をいただきました市民の皆さま、長期にわたり様々な視点でご検討いただきました整備検討委員会の委員の皆さま、ご指導、ご助言をいただきました文化庁、鳥取県教育委員会、鳥取県埋蔵文化財センターなどご協力をいただきました関係各位に心から厚くお礼申し上げます。

平成31年(2019)3月

米子市長 伊 木 隆 司

## 例 言

- 1 本書は、国指定史跡<sup>よなごじょうあと</sup>米子城跡（鳥取県米子市）に関する整備基本計画の策定報告書である。
- 2 策定にあたっては「平成 30 年度国宝重要文化財等保存整備費補助金」を活用して米子市が平成 30 年度に事業を実施した。対象事業は「史跡米子城跡 歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業」である。
- 3 本計画は、基本的には米子城跡のうち「内堀の内側（内堀を含む）」を対象区域としているが、現在の国史跡指定地（平成 18 年 1 月指定）を中心に検討を進め、必要に応じて史跡指定地外の城域に関する事項についても検討している。また、周知の埋蔵文化財包蔵地である外堀より内側の城域を検討対象とした事項もある。
- 4 本事業実施に先立ち、平成 27 年度に史跡指定地を中心とする米子城跡の測量調査（縮尺 1000 分の 1）を実施し、その成果を受けて平成 28 年度に史跡米子城跡保存活用計画を策定し、これに基づいて本計画の策定を行った。
- 5 策定にあたっては、文化庁、鳥取県教育委員会事務局文化財課、鳥取県埋蔵文化財センターの指導助言のもと、米子市教育委員会が史跡米子城跡整備検討委員会を平成 29 年度に設置し、委員の意見を受けた。また、各委員には、委員会での協議以外において、専門的見地からの指導を現地等で随時いただいた。
- 6 本書に掲載した図版は、米子市教育委員会及び米子市において作成したものを中心に使用したが、一部で既知の文献や業績の成果を使用させていただいた。
- 7 本書にかかる諸記録は、米子市経済部文化観光局文化振興課において保管している。
- 8 本報告書編集等の関連業務の一部を株式会社都市景観設計に委託した。
- 9 計画策定にあたり、文化庁、鳥取県教育委員会、鳥取県埋蔵文化財センター、鳥取県立博物館、鳥取市教育委員会、安来市教育委員会、米子市立山陰歴史館、米子市埋蔵文化財センターから協力と助言をいただいた。

# 目 次

## 第1章 整備基本計画策定の経緯と目的

第1節 整備基本計画策定の経緯	1
第2節 整備基本計画策定の目的等	1
1 整備基本計画策定の背景	1
2 整備基本計画策定の目的	4
3 整備基本計画の対象範囲	4
第3節 上位・関連計画	7
第4節 整備検討委員会の設置と経過	12

## 第2章 米子城跡を取り巻く環境

第1節 自然、地理的環境	16
1 立地	16
2 植生	16
3 動物相	18
第2節 社会的環境	19
1 米子市の市勢	19
2 交通	19
3 文化観光資源の分布状況	20
4 法規制の状況	22
第3節 歴史的環境	25
1 時代概説	25
2 周辺の主な城館遺跡	28

## 第3章 米子城の概要

第1節 米子城の歴史	30
第2節 米子城の構造	37
第3節 これまでの調査概要	41
1 既往の発掘調査	41
2 保存整備事業に伴う内容確認調査	47
3 石垣調査	53

## 第4章 指定状況

第1節 史跡指定に至る経緯	56
第2節 指定の状況	57
1 指定告示及び指定理由	57
2 指定説明	59
第3節 指定地の状況	60
1 土地等の所有関係	60
2 管理団体の指定	60
3 公有化の経緯	60

## 第5章 史跡の現状と課題

第1節 調査研究の現状と課題	61
1 調査研究	61
2 石垣変位調査	61

3 地盤調査	62
第2節 保存整備の現状と課題	62
1 保存整備全般について	62
2 個別整備について(便益施設等)	63
3 個別整備について(各種案内板、順路誘導標識等)	64
4 史跡指定地外の区域について	
(三の丸・内堀・深浦・出山・飯山(采女丸)等)	64
第3節 活用整備の現状と課題	66
<b>第6章 整備の理念と基本方針</b>	
第1節 史跡米子城跡の位置づけ	68
第2節 大綱及び基本方針	69
第3節 整備の理念、基本方針	70
<b>第7章 整備基本計画</b>	
第1節 ゾーニング計画	73
1 地区区分の設定	73
2 整備の方向性	76
第2節 整備計画	77
1 調査研究計画	77
2 遺構保存のための整備計画	78
3 活用のための整備計画	99
4 各地区の整備計画	119
5 復元整備の考え方	136
第3節 公開活用計画	145
第4節 運営体制計画	148
<b>第8章 事業計画</b>	
第1節 整備計画	149
1 短期整備計画	149
2 中期整備計画	151
3 長期整備計画	152
4 事業費の想定	153
第2節 完成予想図	155
<b>※参考文献</b>	158
<b>附編 関係資料</b>	
資料1 文化財保護に係る関連法令	159
資料2 米子城絵図	172
資料3 米子市指定有形文化財(建造物)旧小原家長屋門について	176
資料4 米子城鳥瞰図(推定復元)	182
資料5 米子城の構造	183



## **史跡米子城跡整備基本計画の構成**

本計画は、『史跡米子城跡保存活用計画(平成29年3月)』で示した、米子城跡の保存活用における基本的な考え方を踏まえ、米子城跡の適切な保存並びに活用を図るための整備基本計画である。その構成と内容を以下に示す。

### **第1章 整備基本計画策定の経緯と目的**

本基本計画を策定するに至った経緯と目的を明確にし、さらに計画策定するにあたって、米子市の施策展開のなかで本計画の位置づけを整理した。また、本計画策定にあたっての整備検討委員会の設置、検討の経過を示した。

### **第2章 米子城跡を取り巻く環境**

米子城跡をとりまく自然・地理的環境、社会的環境、歴史的環境を整理し、城跡整備の計画にあたり把握しておくべき周辺環境の情報を整理した。

### **第3章 米子城跡の概要**

米子城跡の歴史、構造、これまでの調査概要等、今後の米子城跡の保存と活用にむけた基本的な情報を掲載した。

### **第4章 指定状況**

米子城跡の国史跡指定に関する基本的な情報を掲載した。

### **第5章 史跡の現状と課題**

米子城跡の適切な保存・活用にむけて、調査研究・保存整備・活用整備の観点から、現状と課題を整理した。

### **第6章 整備の理念と基本方針**

米子城跡の位置づけを明確にし、『史跡米子城跡保存活用計画』で示した米子城跡の望ましい将来像「大綱」及び基本方針を踏襲し、整備の基本方針を示した。

### **第7章 整備基本計画**

遺構の性質や現在の土地利用等を考慮したゾーニングを踏襲し、各ゾーンの整備の方向性並びに、調査研究・遺構保存・活用のための整備計画と復元整備の基本的な考え方、さらに公開活用と運営体制の計画を示した。

### **第8章 事業計画**

今後の米子城跡の整備事業について、段階的な事業の進め方を示した。

